

行ってみんな、来てみんな〜 ⑧2

見晴らしのよい灯台の記念館

長崎市伊王島灯台記念館

(県指定有形文化財伊王島灯台旧吏員退息所)

長崎市文化財課 馬場知美



伊王島灯台記念館 (旧吏員退息所)

五島灘を遙かに望む風光明媚な伊王島、その北西に位置する伊王島灯台は、古くから長崎港を行き来する船舶を見守り続けてきました。灯台の脇にある階段を下ると、煙

突屋根に白い漆喰壁の建物が見えてきます。これはかつて灯台守の宿所であつた吏員退息所で、現在は灯台の記念館として開館しています。

伊王島灯台は、幕末の開国後、アメリカ・イギリス・フランス・オランダの四カ国との条約により全国八ヶ所に設置された、日本最初の近代的洋風灯台の一つです。明治に入り、政府のお雇い外国人であるR・H・ブラントンの設計により、鉄造六角形の灯台として建設され、その後、同じく

ブラントンの設計により、灯台を守る職員のための退息所が完成しました。平屋建て瓦葺きの洋風建造物で、壁体は日本最古の無筋コンクリート造です。

灯台は原子爆弾の爆風により塔部がゆがんだため改築されましたが、上部は現在も建設当時のものが使用されています。吏員退息所は灯台の自動化に伴い無人となり、その後、昭和57年(1982年)に長崎県の有形文化財に指定されました。

保存修理を経て、昭和63年(1988年)に伊王島灯台記念館として開館し、伊王島灯台の歴史や回転式レンズなど灯台に関する資料を展示しています。

伊王島灯台の周囲一帯は、歴史的な縁を持つ場所も多く、周辺の景観も

秀逸であることから、長崎市の名勝に指定されています。

日本の近代化が急速に進んだ明治初期。伊王島の風に吹かれながら、激動の時代に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

【住所】長崎市伊王島町1丁目3240番1

【開館時間】9時〜17時

【休館日】毎週月曜(祝日の場合は次の平日)、年末年始

【入場料】無料

